

花き EDI 標準フォーマット仕様書 (Ver. 1.1)

平成 27 年 10 月改訂

一般社団法人日本花き卸売市場協会

電算事務改善委員会

目 次

1	概要	1
2	背景と目的	2
3	データの構造	3
3.1	メッセージの種類	3
3.2	レコードの構成	3
3.3	文字コード	4
3.4	固定レコード長と可変レコード長	5
3.5	カンマ区切りでの文字表現	6
3.6	文字の前後のトリム	7
3.7	ヌル表現	7
3.8	数値表現	7
4	メッセージ定義	9
4.1	フィールドの構成	9
4.2	妥当性検査	9
4.3	メッセージの訂正と取消	9
5	標準コード	18
5.1	卸売会社コード	18
5.2	系統 JA コード	18
5.3	JF コード (品目コード、品種コード)	18
5.4	等階級コード	19
5.5	原産地コード	19
6	独自コード	28
6.1	出荷者コード	28
6.2	その他の独自コード (拡張項目)	43

表 索引

表 1	メッセージの種別.....	3
表 2	レコードの種別.....	3
表 3	メッセージ取扱の種別.....	9
表 4	出荷情報メッセージ.....	11
表 5	仕切情報メッセージ.....	14
表 6	データ型表.....	17
表 7	エラーコード表.....	17
表 8	JF 品目コード表 (1/3)	28
表 9	JF 品目コード表 (2/3)	31
表 10	JF 品目コード表 (3/3)	22
表 11	標準等級コード表.....	36
表 12	標準階級コード表.....	36
表 13	原産地コード表 (1/5) (都道府県コード)	37
表 14	原産地コード表 (2/5) (国名コード、英名 ABC 順)	24
表 14	原産地コード表 (3/5) (国名コード、英名 ABC 順)	25
表 14	原産地コード表 (4/5) (国名コード、英名 ABC 順)	26
表 14	原産地コード表 (5/5) (国名コード、英名 ABC 順)	27

図 索引

図 1	出荷情報メッセージのレコード構成の例.....	3
図 2	複数のメッセージを含むデータファイルの例.....	4
図 3	ダブルクォーテーション保護の例.....	6
図 4	ダブルクォーテーションエスケープの例.....	6

1 概要

この仕様書は、花き出荷者と花き卸売会社の間で電子情報を交換（EDI）する際に用いる標準フォーマットを定めています。

互いに電子情報を交換しようとする花き出荷者と花き卸売会社は、この仕様書の定めるところに従い、電子情報を取り扱う必要があります。

EDI: Electronic Data Interchange（電子情報交換）

2 背景と目的

事務処理にコンピュータの利用が当然となった現代において、企業活動にかかわる情報を電子化して、複数企業のコンピュータ同士で通信・交換することは、各企業の事務作業の削減に大いに役立ちます。

花き流通業界においても、1990年代のフローラシステムから始まり、現在はフロリスネットにいたる系統JA標準のEDIが実用化されています。また、これとは別に、一部の出荷者では、取引関係のある卸売会社との間で、個別に通信仕様を定め、EDI化を進めている例も見受けられます。

しかし、どちらも、花き業界全体にEDIを普及させるには不足があるといわざるを得ません。前者のフロリスネットは、系統JAの県連・県本部レベルが主体となって整備してきたもので、組織的な出荷体制を組む比較的出荷規模の大きいJA向けです。後者の個別EDIは、当事者同士の取り決めだけで済むので個人出荷者や中小卸売会社でも気軽に始められる利点がありますが、個別であるがゆえに、多数の出荷者もしくは多数の卸売会社と情報交換できないのが難点です。

一般社団法人日本花き卸売市場協会では、上記の課題に対応するため、取引電子化部会を設けて、花き業界に携わる誰にとっても使いやすかつ導入しやすいEDIのあり方を検討し、花きEDI標準フォーマットを策定するに至りました。この花きEDI標準フォーマットの普及促進に関しては、2013年より発足した電算事務改善委員会が主体となり、実証試験等による実効性検証、実情に即した仕様見直し等の活動を継続しています。この花きEDI標準フォーマットの利用により、出荷者と卸売会社の間でのEDI化が一層進展し、花き業界全体の生産性が向上することが大きく期待されます。

3 データの構造

3.1 メッセージの種類

花き出荷者と花き卸売会社の間でやり取りされる情報のうち、下表に掲げる 2 つについて標準フォーマットを定めています。

表1 メッセージの種別

メッセージ種別	情報の内容	メッセージ種別番号
出荷情報	生産者から卸売会社へ出荷される商品の詳細情報	2
仕切情報	卸売会社が生産者から委託された、または買い付けた取引の詳細情報	3

3.2 レコードの構成

出荷情報も仕切情報も、1つのメッセージは必ず下表に掲げる3種のレコードで構成されます。フロリスネットと同じ考え方です。

表2 レコードの種別

レコード種別	情報の内容	レコード種別番号
ヘッダ	このメッセージ全体にかかわる識別情報	1
明細	このメッセージの内容を示す商品などの明細(複数行も可)	2
トレーラ	このメッセージ全体の合計数値など	3

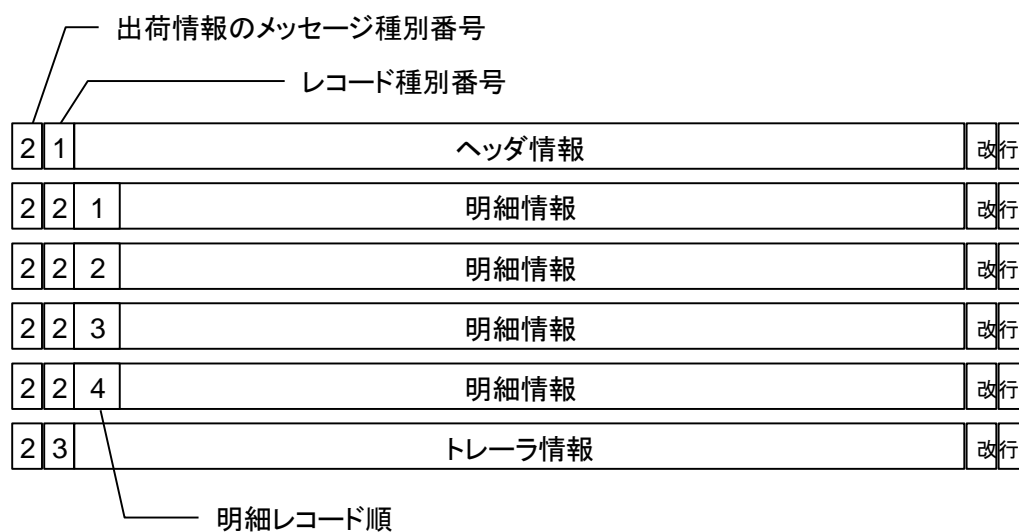


図1 出荷情報メッセージのレコード構成の例

ひとつのメッセージは、必ずヘッダレコードで始まり、トレーラレコードで終わります。明細レコードは、最低で 1 行は必要ですが、それ以上でもかまいません。1 組のヘッダレコードとトレーラレコードで挟まれた明細レコードの明細レコード番号は、必ず 1 から始まる連番でなければなりません。

図 2 のように、1 つのデータファイルの中に複数のメッセージをまとめて格納することもできます。

2	1	ヘッダ情報	改行	} 1 つ目の出荷情報メッセージ	
2	2	1	明細情報		改行
2	2	2	明細情報		改行
2	2	3	明細情報		改行
2	2	4	明細情報		改行
2	3	トレーラ情報	改行	} 2 つ目の出荷情報メッセージ	
2	1	ヘッダ情報	改行		
2	2	1	明細情報		改行
2	2	2	明細情報	改行	} 3 つ目の出荷情報メッセージ
2	3	トレーラ情報	改行		
2	1	ヘッダ情報	改行		
2	2	1	明細情報	改行	
2	2	2	明細情報	改行	} 3 つ目の出荷情報メッセージ
2	2	3	明細情報	改行	
2	3	トレーラ情報	改行		

図 2 複数のメッセージを含むデータファイルの例

3.3 文字コード

(1) 文字コード

花き EDI 標準フォーマットのメッセージ中に日本語文字を含める場合、その文字コードはシフト JIS コードに限ります。シフト JIS コードは、Microsoft Windows の日本語版で使用される最も一般的な 2 バイト文字コードです。

使用できる漢字は、JIS 第一水準と JIS 第二水準とします。

パソコンでない一部のコンピュータで使われる JIS コードや EUC コード、コンピュータメーカー独自の IBM 漢字コードや富士通漢字コードは使えません。また、最新のパソコンの一部で使われることがある Unicode (UTF) コードも使えません。これらのコードのデータは、シフト JIS コードに変換した上で、EDI メッセージを作成してください。

シフト JIS コードの中の一部にも機種依存コード（「①」「②」など）がありますが、Microsoft Windows の日本語版で正しく扱われる文字は許容するものとします。

(2) 改行コード

各レコードの終わりには改行コードを付す必要がありますが、改行コードは「CR」コードと「LF」コードの 2 バイトとします。「CR」コード、「LF」コードは、

それぞれ 16 進数表記で 0x0d、0x0a です。改行を「CR」と「LF」の 2 バイトで表すことは、シフト JIS コード同様、多くのパソコンで一般的なものです。

Unix 系の OS を使用する一部のコンピュータでは、改行コードが「LF」(0x0a) の 1 バイトだけのことがあるので注意が必要です。

3.4 固定レコード長と可変レコード長

(1) 固定レコード長と可変レコード長の両対応

花き EDI 標準フォーマットは固定レコード長方式と可変レコード長方式の両方に対応しています。それぞれ一長一短があるので、どちらの方式も標準として採用されています。花き業界内のあらゆる相手との EDI を実現したければ、両方式に対応した送受信プログラムを用意しなければなりません。

ただし、1 メッセージ内で両方式を混在させてはいけません。

どのメッセージ種類でも、ヘッダレコードの最初の 2 バイトを見れば、そのメッセージがどちらの方式なのかを判別することができます。

(2) 固定レコード長方式

固定レコード長方式では、メッセージデータ内の各レコードのバイト数がすべて同じになっています。レコード内の各フィールド位置が固定されているので、情報を読み取りやすい利点があります。その一方で、使用しないフィールドを半角スペース文字 (16 進表記 0x20) で埋めなければならないので、メッセージ全体の容量が大きくなりがちです。

固定レコード長方式では、出荷情報メッセージ、仕切情報メッセージどちらも、1 レコードあたり、情報フィールド 510 バイト+改行 2 バイト=512 バイトです。

ヘッダレコードの 1 バイト目は「メッセージ種別番号」で、2 バイト目は「1」 (=レコード種別番号) になっているはずです。

(3) 可変レコード長方式 (カンマ区切り)

可変レコード長方式では、フィールドごとに半角カンマ文字で区切るカンマ区切り CSV 形式 (CSV: Comma Separated Values) を使用します。不要なフィールドや桁をスキップできるので、レコード全体のバイト数が変化し、多くの場合においてメッセージ全体の容量は小さくなります。しかし、フィールドの位置が変化するので、半角カンマ文字で切り分けてからでないと情報を読み取ることができません。

すべてのフィールドのあとに区切りの半角カンマをつけてください。ただし、各レコードの最後のフィールドのあとは、区切りの半角カンマをつけずに改行でなければなりません。レコード内の区切りの半角カンマの数は、そのレコード内のフィールドの数よりひとつ少なくなるはずです。

ヘッダレコードの 1 バイト目は「メッセージ種別番号」で、2 バイト目は「,」 (=区切りの半角カンマ) になっているはずです。

可変レコード長方式には、カンマ区切り以外の形式もありますが、現在のところ、

花き EDI 標準フォーマットでは採用されていません。XML 形式などは次期バージョン以降で開発されていく予定です。

3.5 カンマ区切りでの文字表現

カンマ区切りでは、数値フィールドと文字フィールドの扱いを厳密に区別する必要があります。メッセージ定義のフィールドごとにデータ型が定義されているので、それに従ってください。

文字データは、フィールドの値の先頭と末尾を「"」（＝半角ダブルクォーテーション）で括らなければなりません。これにより、文字フィールドの内容に半角カンマが含まれていても、意図しない区切りを防ぐことができます。これをダブルクォーテーション保護と呼びます。

たとえ文字フィールドの内容に半角カンマがない場合であっても、文字フィールドはダブルクォーテーション保護が必須です。

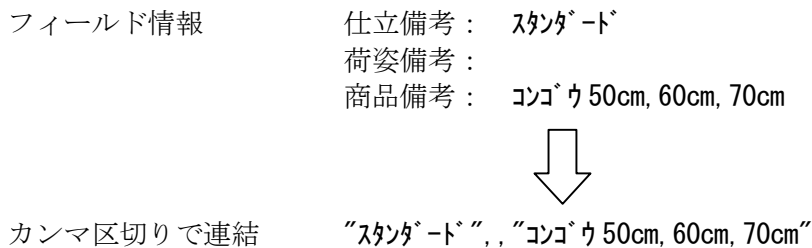


図3 ダブルクォーテーション保護の例

読み出す側は、文字フィールドを読み出す際、半角ダブルクォーテーションで挟まれている範囲をひとつのフィールドと見なさなければなりません。半角ダブルクォーテーションで挟まれている範囲にある半角カンマは、区切りの半角カンマではありません。

ダブルクォーテーション保護下では、フィールド情報に半角ダブルクォーテーションが含まれている場合に、特別な注意が必要となります。文字フィールドに半角ダブルクォーテーションを含めたい場合は、もう1バイト繰り返し重複させる必要があります。これをダブルクォーテーションエスケープと呼びます。

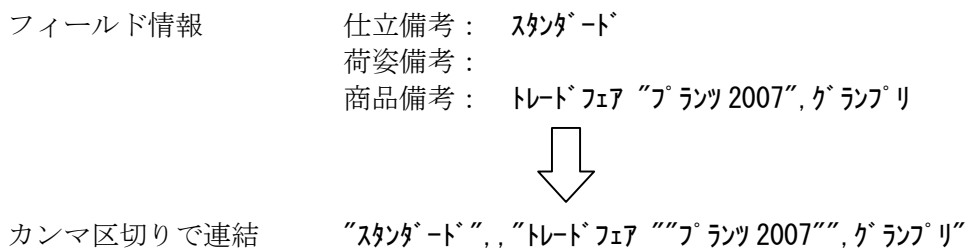


図4 ダブルクォーテーションエスケープの例

読み出す側は、文字フィールドを先頭から走査して末尾の半角ダブルクォーテーションを探しますが、それが2バイト連続していたら、さらに先を探さなければなりません。また、その際、2バイト連続している半角ダブルクォーテーションは1バイトに切り落とさなければなりません。2バイト連続の半角ダブルクォーテーションは、保護のための半角ダブルクォーテーションではありません。

一方、数値フィールドは、ダブルクォーテーション保護をしてはいけません。

3.6 文字の前後のトリム

文字フィールドを読み出す際、そのフィールドの先頭から続く半角スペース (16進表記 0x20) と全角スペース (16進表記 0x8140)、および末尾から遡る半角スペースと全角スペースは切り落とすこととします (トリム)。半角スペースと全角スペースが混在している場合も、それらすべてを前後からトリムします。

これは、もともと、固定レコード長方式の文字フィールドにおいて、実際に必要な文字の値の後方に続く無意味な空白を取り除く目的がありますが、後方だけでなく前方にも適用し、さらに可変レコード長方式にも適用しようというものです。

このルールの適用により、スペース文字だけの文字フィールドは全桁切り落とされ、ヌル (空) と扱われます。したがって、可変レコード長方式においてスペース文字ばかりの文字フィールドは、スキップされているのと同等になります。

3.7 ヌル表現

必須でないフィールドで、そこに値を持たせたくない場合は、ヌル (空) とします。

ヌル表現は、固定レコード長方式と可変レコード長方式では異なります。

固定レコード長方式の場合は、桁位置が決められているためフィールドをスキップすることができませんから、以下の場合をヌル表現とします。

- ① 数値フィールドが全桁0で埋まっていること。
- ② 文字フィールドが全桁半角スペース (16進表記 0x20) または全角スペース (16進表記 0x8140) で埋まっていること。両者の混在も同様。

可変レコード長方式の場合は、単に半角カンマを連続させれば、そのフィールドをスキップすることができるので、それをもってヌル表現とします。スキップされていなくても、3.6項のトリムによりヌルになることもあります。

必須のフィールドではヌルは許されません。数値の0は、必須フィールドではヌルではなく0の意味を持ちます。しかし、スペース文字だけの文字フィールドはトリムされてヌルになるので、必須フィールドではエラーになります。

3.8 数値表現

固定レコード長方式で、数量や金額など、数値しか許されないフィールドの扱いは、以下のようになっています。

- ① 符号つき数値フィールドの場合は、先頭 (最上位) の桁は符号「+」「-」の

どちらかでなければならず、残りの桁は「0」から「9」までの数字でなければなりません。0は例外で、全桁0で表すこととします。

符号なし数値フィールドの場合は、すべての桁が「0」から「9」までの数字でなければなりません。

- ② 符号ありなしにかかわらず、小数値の場合は上記のほかに小数点がひとつだけ許され、その桁位置は任意です。
- ③ 数値はフィールド内で右詰めされ、上位桁は「0」で埋められていなければなりません。スペース文字は許されません。

可変レコード長方式では、右詰めや0埋めは不要です（右詰め概念自体がありません）。可変レコード長方式でも、符号つき数値フィールドには、0でない限り、先頭に符号「+」「-」が必要です。数値フィールドは、ダブルクォーテーション保護をしてはいけません。

4 メッセージ定義

4.1 フィールドの構成

出荷情報メッセージを表 4 に、仕切情報メッセージを表 5 に示します。

メッセージ定義は、固定レコード長方式と可変レコード長方式に共通です。ただし、表中の開始位置は固定レコード長方式でだけ使用します。

4.2 妥当性検査

各フィールドは、表に示された妥当性検査を受けます。

各フィールドのデータ型によって、使用できる文字種や符号の有無が異なりますので、注意深くメッセージデータを作成してください。

固定レコード長方式における数値データ型の前 0 埋め (3.8 項) や、可変レコード長方式における文字データ型のダブルクォーテーション保護 (3.5 項) も参考にしてください。

4.3 メッセージの訂正と取消

すでに発信してしまったメッセージに対し、何らかの事情で訂正あるいは取消が必要になることがあります。花き EDI 標準フォーマットでは、次の 3 通りの方法で訂正や取消を伝達することを想定しています。

どの方法を取るかは、相手との協議の上で決定してください。

(1) メッセージ取扱種別での指定

訂正または取消が必要となったことを伝達するために、下表に掲げる 3 つの取扱種別があります。

表 3 メッセージ取扱の種別

メッセージ取扱種別	取り扱い方	メッセージ取扱種別番号
通常	通常メッセージ	0
訂正	すでに発信したメッセージを訂正する場合 以前のメッセージは、この新しいメッセージで置き換える(上書き)	1
取消	すでに発信したメッセージを全く取り消す場合 以前のメッセージは削除する	2

訂正メッセージと取消メッセージでは、以前のどのメッセージを訂正あるいは取消しようとするのが特定できなければなりません。そのためのキーは、出荷情報では出荷日と送り状番号、仕切情報では販売日と仕切書番号、です。これらを、それぞれ元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドに収めておかなければなりません。訂正あるいは取消の対象となるメッセージを特定できなかった場合はエラーになります。

訂正メッセージの各フィールドには、訂正後の新しい内容をすべて記述します。
取消メッセージの各フィールドには、取消対象とするメッセージと全く同じ内容を記述します。

(2) 全赤伝／全黒伝

訂正の際、訂正メッセージを発信するのではなく、以前のメッセージと内容は同じで口数や金額などの符号だけを反転させた全赤伝（全行赤伝票）メッセージと、訂正後の新たな内容をすべて記述した全黒伝（全行黒伝票）メッセージという2つのメッセージで伝達する方法です。系統 JA 向けの仕切情報では、この方法がよく要望されます。

出荷情報の全赤伝は、口数の数値の符号を反転（マイナス）させます。それにもない、数量などの数値の符号も計算により反転します。

仕切情報の全赤伝は、口数と仕切金額の数値の符号を反転（マイナス）させます。それにもない、数量や委託手数料などの数値の符号も計算により反転します。単価の符号は計算により反転しません。

全赤伝メッセージも全黒伝メッセージも、メッセージ取扱種別は「通常」のままとします。すなわち、メッセージ取扱種別は事実上使用しません。

全赤伝メッセージにより、以前のメッセージは実質的にまるごと打ち消されるので、引き続きなにごともなかったかのように、新たなメッセージ（全黒伝）を発信します。

メッセージ取扱種別を指定する場合と異なり、以前のメッセージを特定できなくてもエラーにはなりません。元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドは入力されていることが望ましいです。

(3) 部分赤黒伝

訂正の際、訂正メッセージを発信するのではなく、以前のメッセージと比較して変化のある行だけに注目し、口数や金額などの符号を反転させた行と訂正後の新たな内容を記述した行を1つのメッセージにまとめた部分赤黒伝メッセージで伝達する方法です。必要最小限で済む実際的な方法です。

符号の反転と計算の考え方は、全赤／全黒の場合と同じです。訂正されるべき行だけを対象とする点と、赤行と黒行を1メッセージに含めてしまう点が、全赤／全黒の場合と異なります。

部分赤黒伝メッセージのメッセージ取扱種別は「通常」のままとします。すなわち、メッセージ取扱種別は事実上使用しません。

メッセージ取扱種別を指定する場合と異なり、以前のメッセージを特定できなくてもエラーにはなりません。元出荷日と元送り状番号あるいは元販売日と元仕切書番号のフィールドは入力されていることが望ましいです。

表 4 出荷情報メッセージ (1/3)

項目番号	区分	項目名称	ED標準(バージョン10)仕様			ED標準(バージョン1.1)仕様			備考
			コード管理者	データ型	項目位置	単位	必須項目	項目説明	
2101		メッセージ種別	数値U	0	1	必須	メッセージの種別を表す。固定 な出荷情報メッセージ	メッセージの種別を表す。固定 な出荷情報メッセージ	2 固定
2102		レコード種別	数値U	1	1	必須	レコードの種別を表す。固定 1:ヘッダレコード	レコードの種別を表す。固定 1:ヘッダレコード	1 固定
2103		メッセージバージョン	数値U	2	3	必須	メッセージ固有のバージョン番号。固定 10:バージョン1.0	メッセージ固有のバージョン番号。固定 11:バージョン1.1	10-11 11 固定 (バージョン1.1として現行標準Verと区別して運用)
2104	識別項目	メッセージ取扱種別	数値U	5	1	必須	メッセージの取り扱い方の指定 0:通常 1:緊急 2:取消	メッセージの取り扱い方の指定 0:通常 1:緊急 2:取消	0 固定
2105		出荷日	文字D	6	8	必須	出荷者が出荷する日。YYYYMMDD	出荷者が出荷する日。YYYYMMDD	20140123 (年月日の区切りナシ)
2106		送り状番号	文字H	14	11		指定がある場合に、同一出荷日の重複番号はエラー(020)	出荷者が採着する送り状を識別する番号	1234567890 (可能なら10桁以内で、 桁数10桁以内、半角英数、-、.使用可)
2107		元出荷日	文字D	25	8		元出荷日	訂正・取消する場合の元出荷日。YYYYMMDD	不要
2108		元送り状番号	文字H	33	11		元送り状番号	訂正・取消する場合の元送り状番号	不要
2109	ヘッダ	商品区分	数値U	44	1		切花、鉢物、苗物等を表す区分 1:鉢物、切葉 2:鉢物、苗物 3:鉢物	切花、鉢物、苗物等を表す区分 1:鉢物、切葉 2:鉢物、苗物 3:鉢物	不要
2110		代表品目名	文字Z	45	30		代表品目の名称	代表品目の名称	不要
2111		販売日	文字D	75	8		卸売会社が販売する日。YYYYMMDD	卸売会社が販売する日。YYYYMMDD	20140124 (市場での販売日)
2112	代表項目	卸売会社コード1	文字S	83	6	選択必須	卸売会社を表すコード	卸売会社を表すコード	必須
2113		卸売会社コード2	文字H	89	7		卸売会社を表すコード	卸売会社を表すコード	不要
2114		卸売会社名	文字Z	96	50	必須	卸売会社の名称	卸売会社の名称	株式会社〇〇様
2115		連携コード	文字S	146	7		出着者の連携コード	出着者の連携コード	不要
2116		連携コード	文字S	153	10	選択必須	出着者の連携コード	出着者の連携コード	不要
2117		出着者コード	文字H	163	18		出着者を表すコード	出着者を表すコード	電話番号で7桁(例:0123456789) ハッシュコードは数字のみ
2118		出着者名	文字Z	181	50	必須	出着者の名称	出着者の名称	株式会社〇〇様
2119		出荷情報備考	文字Z	231	50		出荷情報に対する備考	出荷情報に対する備考	不要
2120		改行	CRLF	510	2		改行	改行(CRLF)	不要
2201	識別項目	メッセージ種別	数値U	0	1	必須	メッセージの種別を表す。固定 2:出荷情報メッセージ	メッセージの種別を表す。固定 2:出荷情報メッセージ	2 固定
2202		レコード種別	数値U	1	1	必須	レコードの種別を表す。固定 2:明細レコード	レコードの種別を表す。固定 2:明細レコード	2 固定
2203		明細レコード番号	数値U	2	3	必須	明細レコード番号	出荷情報メッセージ内の明細レコード番号	1~999 行番号
2204		荷印	文字H	5	8		出荷者の荷印	出荷者の荷印	不要
2205		形態コード	文字S	13	2		形態を表す標準コード	形態を表す標準コード	不要
2206		形態名	文字Z	15	20		形態の名称	形態の名称	不要
2207		品目コード	文字S	35	5		品目を表す標準コード	品目を表す標準コード	不要
2208		品目名	文字Z	40	30		品目の名称	品目の名称	不要
2209		品種コード	文字S	70	7		品種を表す標準コード レコードの末尾の空白に00を付加	品種を表す標準コード レコードの末尾の空白に00を付加	JFコード
2210		商品名	文字Z	77	50	必須	商品の名称、特にない場合は品種の名称	商品の名称、特にない場合は品種の名称	必須

表 4 出荷情報メッセージ (2/3)

項目番号	区分	項目名称	EDI標準(バージョン10)仕様				EDI標準(バージョン1.1)仕様				備考			
			コード管理者	データ型	単位	必須項目	項目説明	項目説明	単位	必須項目		変更		
2211		等級コード	市場協会桁段	文字S	127	3		等級(品名)を表す標準コード	等級コード	任意	3	任意	コード表は別途配布	
2212		等級名	市場協会桁段	文字Z	130	20		等級(品名)の名称	等級名	任意	20	任意		
2213		階級コード	市場協会桁段	文字S	150	3		階級(専売)を表す標準コード	階級コード	任意	3	任意	コード表は別途配布	
2214		階級名	市場協会桁段	文字Z	153	20		階級(専売)の名称	階級名	任意	20	任意		
2215		原産地コード	JIS	文字H	173	3		原産地の国・県を表すコード ・国内・JIS共通階級コードの4桁の先頭20を付加 ・国外・JISのアルファベット3文字コード	原産地コード	任意	3	任意		
2216		原産地名		文字Z	176	20		原産地の国・県の名称 ・国内・県名 ・国外・国名	原産地名	任意	20	任意		
2217		鉢サイズ		数値UF	186	4	鉢物時必須 [008]	鉢物の器縁のサイズ号数(寸) ・商品区分が鉢物・苗物時、指定なしエラー ・小数点以下が桁以上はエラー[008]	鉢サイズ	任意	4	任意		
2218	商品項目	輪数		文字SK	200	5		商品の輪数(1本、1鉢または1口あたりの花の数) ・99または、99-99	輪数	任意	5	任意		
2219		立本数		文字SK	205	5		商品の立本数 ・99または、99-99	立本数	任意	5	任意		
2220		入数		数値U	210	4	必須	1口あたりの入り本数・入り鉢数	入数	必須	4	必須		
2221		口数		数値S	214	6	必須	ケースや草箱等部が流通する単位での数量	口数	必須	6	必須		
2222		数量		数値S	220	8	必須	商品の総数量(総本数・総鉢数) ・入数×口数の値以外エラー[011] ・0はエラー[008]	数量	必須	8	必須		
2223		鉢種番号		文字Z	228	20		鉢の種類を表す文字表記	鉢種番号	任意	20	任意		
2224		仕立番号		文字Z	248	20		仕立を表す文字表記	仕立番号	任意	20	任意		
2225		荷姿番号		文字Z	268	20		荷姿を表す文字表記	荷姿番号	任意	20	任意		
2226	明細	商品番号		文字Z	288	50		商品に対する備考	商品番号	任意 (上記項目で表 現できない場合、 備考など)	50	任意	立箱など	
2227		取引区分		数値U	338	1	必須	委託・買付を表す区分 ・0:委託 ・1:買付 ・2:委託 ・3:委託 ・4:委託 ・5:委託 ・6:委託 ・7:委託 ・8:委託 ・9:委託 ・10:委託 ・11:委託 ・12:委託 ・13:委託 ・14:委託 ・15:委託 ・16:委託 ・17:委託 ・18:委託 ・19:委託 ・20:委託 ・21:委託 ・22:委託 ・23:委託 ・24:委託 ・25:委託 ・26:委託 ・27:委託 ・28:委託 ・29:委託 ・30:委託 ・31:委託 ・32:委託 ・33:委託 ・34:委託 ・35:委託 ・36:委託 ・37:委託 ・38:委託 ・39:委託 ・40:委託 ・41:委託 ・42:委託 ・43:委託 ・44:委託 ・45:委託 ・46:委託 ・47:委託 ・48:委託 ・49:委託 ・50:委託 ・51:委託 ・52:委託 ・53:委託 ・54:委託 ・55:委託 ・56:委託 ・57:委託 ・58:委託 ・59:委託 ・60:委託 ・61:委託 ・62:委託 ・63:委託 ・64:委託 ・65:委託 ・66:委託 ・67:委託 ・68:委託 ・69:委託 ・70:委託 ・71:委託 ・72:委託 ・73:委託 ・74:委託 ・75:委託 ・76:委託 ・77:委託 ・78:委託 ・79:委託 ・80:委託 ・81:委託 ・82:委託 ・83:委託 ・84:委託 ・85:委託 ・86:委託 ・87:委託 ・88:委託 ・89:委託 ・90:委託 ・91:委託 ・92:委託 ・93:委託 ・94:委託 ・95:委託 ・96:委託 ・97:委託 ・98:委託 ・99:委託 ・100:委託	取引区分	必須	1	必須	区分追加	委託・買付を表す区分 ・0:委託 ・1:買付 ・2:委託 ・3:委託 ・4:委託 ・5:委託 ・6:委託 ・7:委託 ・8:委託 ・9:委託 ・10:委託 ・11:委託 ・12:委託 ・13:委託 ・14:委託 ・15:委託 ・16:委託 ・17:委託 ・18:委託 ・19:委託 ・20:委託 ・21:委託 ・22:委託 ・23:委託 ・24:委託 ・25:委託 ・26:委託 ・27:委託 ・28:委託 ・29:委託 ・30:委託 ・31:委託 ・32:委託 ・33:委託 ・34:委託 ・35:委託 ・36:委託 ・37:委託 ・38:委託 ・39:委託 ・40:委託 ・41:委託 ・42:委託 ・43:委託 ・44:委託 ・45:委託 ・46:委託 ・47:委託 ・48:委託 ・49:委託 ・50:委託 ・51:委託 ・52:委託 ・53:委託 ・54:委託 ・55:委託 ・56:委託 ・57:委託 ・58:委託 ・59:委託 ・60:委託 ・61:委託 ・62:委託 ・63:委託 ・64:委託 ・65:委託 ・66:委託 ・67:委託 ・68:委託 ・69:委託 ・70:委託 ・71:委託 ・72:委託 ・73:委託 ・74:委託 ・75:委託 ・76:委託 ・77:委託 ・78:委託 ・79:委託 ・80:委託 ・81:委託 ・82:委託 ・83:委託 ・84:委託 ・85:委託 ・86:委託 ・87:委託 ・88:委託 ・89:委託 ・90:委託 ・91:委託 ・92:委託 ・93:委託 ・94:委託 ・95:委託 ・96:委託 ・97:委託 ・98:委託 ・99:委託 ・100:委託
2228	取引項目	買付単価		数値S	339	7		買付単価(税抜、円未満切捨て)	買付単価	任意	7	任意	1本単価の場合、1	
2229		買付単価単位		数値U	346	4		買付単価に含まれる数量(本数・鉢数)	買付単価単位	任意	4	任意	1本単価の場合、1	
2230		注文単価		数値S	350	7		注文時の単価(税抜、円未満切捨て)	注文単価	任意	7	任意	1本単価の場合、1	
2231		注文単価単位		数値U	357	4		注文単価に含まれる数量(本数・鉢数)	注文単価単位	任意	4	任意	1本単価の場合、1	
2232		注文備考		文字Z	361	20		注文を識別する番号、買受人番号などの備考	注文備考	任意	20	任意	買受人番号 でとめるのは今後協議の上決定	
2233	販売項目	即売会社品目コード	各即売会社独自	文字H	381	7		即売会社が規定する品目コード	即売会社品目コード	任意	7	任意	(弊社では不要)	
2234		即売会社品目コード	各即売会社独自	文字H	388	7		即売会社が規定する品目コード	即売会社品目コード	任意	7	任意	(弊社では不要)	
2235		即売会社階級コード	各即売会社独自	文字H	395	3		即売会社が規定する階級コード	即売会社階級コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2236		即売会社階級コード	各即売会社独自	文字H	398	3		即売会社が規定する階級コード	即売会社階級コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2237		即売会社原産地コード	各即売会社独自	文字H	401	3		即売会社が規定する原産地(国・県)を表すコード	即売会社原産地コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2238		出荷者品目コード	各出荷者独自	文字H	404	7		出荷者が規定する品目コード	出荷者品目コード	任意	7	任意	(弊社では不要)	
2239		出荷者品目コード	各出荷者独自	文字H	411	7		出荷者が規定する品目コード	出荷者品目コード	任意	7	任意	(弊社では不要)	
2240		出荷者階級コード	各出荷者独自	文字H	418	3		出荷者が規定する階級コード	出荷者階級コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2241		出荷者階級コード	各出荷者独自	文字H	421	3		出荷者が規定する階級コード	出荷者階級コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2242		出荷者原産地コード	各出荷者独自	文字H	424	3		出荷者が規定する原産地(国・県)を表すコード	出荷者原産地コード	任意	3	任意	(弊社では不要)	
2243		予備		数値U	427	83		予備	予備	任意	83	任意	(弊社では不要)	
2244		改行		CRLF	510	2		改行	CRLF	改行	2	改行		

表 4 出荷情報メッセージ (3/3)

項目番号	区分	項目名称	ED標準(バージョン10)仕様				ED標準(バージョン1.1)仕様							
			コード管理者	データ型	開始位置	単位数	必須項目	項目説明	項目名称	種別	単位数	必須項目	変更	備考
2301	種別項目	メッセージ種別	メッセージの種別を基準し、固定な出荷情報メッセージ	数値U	0	1	必須	メッセージ種別	メッセージの種別を基準し、固定な出荷情報メッセージ	必須項目	必須	2	固定	
2302	種別項目	レコード種別	レコードの種別を基準し、固定な3レコード	数値U	1	1	必須	レコード種別	レコードの種別を基準し、固定な3レコード	必須項目	必須	3	固定	
2303	ト	梱包数計	運賃計算の基礎となる梱包数の合計	数値S	2	6		梱包数計	運賃計算の基礎となる梱包数の合計		任意			
2304	レ	口数計	明細レコードの口数の合計	数値S	8	6	必須	口数計	明細レコードの口数の合計		任意	必須-任意		
2305	ラ	数量計	明細レコードの数量の合計	数値S	14	8	必須	数量計	明細レコードの数量の合計		任意	必須-任意		
2306		予備			22	488		予備			488	任意		
2307		改行			510	2		改行	CRLF		2	改行		改行(CRLF)

・必須項目が欠けている場合は、必須項目エラー[006]
 ・可変レコード長で、最大バイト数を超えた項目は、項目長エラー[014]
 ・固定レコード長で、レコード長が合わない場合は、レコード長エラー[015]
 ・可変レコード長で、項目数が合わない場合は、項目数エラー[016]
 ・レコードの並びが、ヘッダ、明細、トータルでない場合は、フォーマットエラー[017]
 ・明細レコードが明細レコード番号順でない場合は、明細順序エラー[018]
 ・メッセージ取扱種別が訂正または取消の場合に、訂正・取消対象となるデータが戻つていない場合は、対象データなしエラー[019]

表5 仕切情報メッセージ (1/3)

項番	階層区分	EDI標準(バージョン1.0)仕様				EDI標準(バージョン1.1)仕様					
		項目名称	項目説明	項目名称	項目説明	項目名称	項目説明	項目名称	項目説明		
3101	識別項目	メッセージ種別	メッセージの種別を表す 固定 *3 仕切情報メッセージ	数値0	1 必須	メッセージ種別	メッセージの種別を表す 固定 *3 仕切情報メッセージ	1	必須	3 固定	備考
3102		レコード種別	レコードの種別を表す 固定 *1 ヘッダレコード	数値0	1 必須	レコード種別	レコードの種別を表す 固定 *1 ヘッダレコード	1	必須	1 固定	
3103		メッセージバージョン	メッセージ定義のバージョン番号 固定 *10 バージョン1.0	数値0	3 必須	メッセージバージョン	メッセージ定義のバージョン番号 固定 *11 バージョン1.1	3	必須	11 固定	
3104	識別項目	メッセージ取扱種別	メッセージの取り扱い方の指定 *0 通常 *1 訂正 *2 取消	数値0	5 1 必須	メッセージ取扱種別	メッセージの取り扱い方の指定 *0 通常 *1 訂正 *2 取消	1	必須 *1 通常のみ限定	0 固定	
3105		販売日	卸売会社が販売した日 YYYYMMDD	文字	6 8 必須	販売日	卸売会社が販売した日 YYYYMMDD	8	必須	20/40/24	
3106		仕切番号	卸売会社が指番する仕切番号を識別する番号	文字	14 11	仕切番号	卸売会社が指番する仕切番号を識別する番号	11	任意	今回は未使用	
3107		元販売日	訂正・取消する場合の元販売日 YYYYMMDD	文字	25 8	元販売日	訂正・取消する場合の元販売日 YYYYMMDD	8	-	不要	(弊社では不要)
3108		元仕切番号	訂正・取消する場合の元仕切番号	文字	33 11	元仕切番号	訂正・取消する場合の元仕切番号	11	-	不要	(弊社では不要)
3109		送状番号	商品が記載されていた送状を識別する番号	文字	44 11	送状番号	商品が記載されていた送状を識別する番号	10	任意	11桁-10桁 (4桁-9桁)	
3110	ヘッダ	商品区分	切花・鉢物・草花等を表す区分 *1 切花・鉢物・草花 *2 樹木	数値0	55 1	商品区分	切花・鉢物・草花等を表す区分 *1 切花・鉢物・草花 *2 樹木	1	-	不要	(弊社では不要)
3111		代表品目名	代表品目の名称	文字	56 30	代表品目名	代表品目の名称	30	-	不要	(弊社では不要)
3112		出荷日	出荷者が出荷した日 YYYYMMDD	文字	66 8	出荷日	出荷者が出荷した日 YYYYMMDD	8	任意	20/40/23 (年月日の区切りナシ)	
3113	代装項目	卸売会社コード1	卸売会社が指番するコード	文字	94 6	卸売会社コード1	卸売会社が指番するコード	6	必須	必須-任意	欄コードと欄コード (コード表は、別途配布)
3114		卸売会社コード2	卸売会社が指番するコード	文字	100 7	卸売会社コード2	卸売会社が指番するコード	7	-	不要	(弊社では不要)
3115		卸売会社名	卸売会社の名称	文字	107 50 必須	卸売会社名	卸売会社の名称	50	必須	必須	株式会社○○花き
3116		農産コード	出荷者の農産等を表すコード	文字	157 7	農産コード	出荷者の農産等を表すコード	7	-	不要	(弊社では不要)
3117		農協コード	出荷者の農協等を表すコード	文字	164 10	農協コード	出荷者の農協等を表すコード	10	-	不要	(弊社では不要)
3118		出荷者コード	出荷者を表すコード	文字	174 18	出荷者コード	出荷者を表すコード	18	必須	必須	電話番号をセット(例:012-345-6789)
3119		出荷者名	出荷者の名称	文字	192 50 必須	出荷者名	出荷者の名称	50	必須	必須	株式会社□□□□
3120		仕切情報番号	仕切情報に対する番号	文字	242 50	仕切情報番号	仕切情報に対する番号	50	-	不要	(なし)
3121		予備		文字	292 218	予備		218	-	不要	
3122		改行	CRLF		510 2	改行	CRLF	2	改行	改行(CRLF)	
3201	識別項目	メッセージ種別	メッセージの種別を表す 固定 *3 仕切情報メッセージ	数値0	0 1 必須	メッセージ種別	メッセージの種別を表す 固定 *3 仕切情報メッセージ	1	必須	3 固定	
3202		レコード種別	レコードの種別を表す 固定 *2 明細レコード	数値0	1 1 必須	レコード種別	レコードの種別を表す 固定 *2 明細レコード	1	必須	2 固定	
3203	明細	明細レコード番号	仕切情報メッセージ内の明細レコード番号	数値0	2 3 必須	明細レコード番号	仕切情報メッセージ内の明細レコード番号	3	必須	必須	1~999 行番号 (今回は、*1-1件毎の連番)
3204		荷印	出荷者の荷印	文字	5 8	荷印	出荷者の荷印	8	任意	任意	(弊社では不要)
3205		形態コード	形態を表す標準コード	文字	13 2	形態コード	形態を表す標準コード	2	任意	任意	(弊社では不要)
3206		形態名	形態の名称	文字	15 20	形態名	形態の名称	20	任意	任意	(弊社では不要)
3207		品目コード	品目を表す標準コード	文字	35 5	品目コード	品目を表す標準コード	5	任意	任意	(弊社では不要)
3208		品目名	品目の名称	文字	40 30	品目名	品目の名称	30	任意	任意	卸売会社登録名称
3209		品種コード	品種を表す標準コード *10コードの桁の先頭に00を付加	文字	70 7	品種コード	品種を表す標準コード *10コードの桁の先頭に00を付加	7	任意	任意	JFコード

表 5 仕切情報メッセージ (2/3)

ED1標準(バージョン1.0)仕様										ED1標準(バージョン1.1)仕様									
項番	階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	長さ	必須項目	妥当性検査 (□内はエラーコード)	項目名称	項目説明	長さ	必須項目	変更	備考				
3210			商品名	商品の名称、特にない場合は品種の名称		文字	71	必須		商品名	商品の名称、特にない場合は品種の名称	80	必須		即会社登録名称				
3211			等級コード	等級(品質)を表す階級コード	市場協会新設	文字	121	3		等級コード	等級(品質)を表す階級コード	3	任意		コード表は別途配布				
3212			等級名	等級(品質)の名称		文字	130	20		階級コード	階級(品質)の名称	3	任意		即会社登録名称				
3213			階級コード	階級(専文)を表す階級コード	市場協会新設	文字	150	3		階級コード	階級(専文)を表す階級コード	3	任意		コード表は別途配布				
3214			階級名	階級(専文)の名称		文字	153	20		階級名	階級(専文)の名称	20	任意		即会社登録名称				
3215			原産地コード	原産地の国・県を表すコード ・国内、JIS協道府県コードの2桁の先頭20を付加 06は、 ・国外、JISのアルファベット3文字コード	JIS	文字	173	3		原産地コード	原産地の国・県を表すコード ・国内、JIS協道府県コードの2桁の先頭20を付加 ・国外、JISのアルファベット3文字コード	3	任意		JIS3桁				
3216			原産地名	原産地の国・県の名称 ・国内・県名 ・国外・国名		文字	176	20		原産地名	原産地の国・県の名称 ・国内・県名 ・国外・国名	20	任意						
3217	商品		鉢サイズ	鉢の容器のサイズ号数(寸)		数値UF	166	4	商品区分が鉢物、苗物時、指定なしエラー (006) ・0はエラー-[008] ・99または、99-99	鉢サイズ	鉢の容器のサイズ号数(寸)	4	任意		05-99.9 切付では未使用				
3218			輪数	商品の輪数(1本、1鉢または1口あたりの花の数) ・99または、99-99		文字SK	200	5		輪数	商品の輪数(1本、1鉢または1口あたりの花の数) ・99または、99-99	5	任意		即会社登録値				
3219			立本数	商品の立本数 ・99または、99-99		文字SK	205	5		立本数	商品の立本数 ・99または、99-99	5	任意		即会社登録値				
3220			人数	1口あたりの入り本数、入り鉢数		数値U	210	4	必須	人数	1口あたりの入り本数、入り鉢数	4	必須						
3221			口数	ケースや鉢等商品が流通する単位での数量		数値S	214	6	必須	口数	ケースや鉢等商品が流通する単位での数量	6	必須						
3222			数量	商品の総数(総本数・総鉢数) 総数=人数×口数		数値S	220	8	必須	数量	商品の総数(総本数・総鉢数) 総数=人数×口数	8	必須						
3223			鉢履備考	鉢の履履を表す文字表記		文字	238	20		鉢履備考	鉢の履履を表す文字表記	20	任意		鉢物のみ				
3224			仕立備考	仕立を表す文字表記		文字	246	20		仕立備考	仕立を表す文字表記	20	任意		鉢物のみ				
3225			荷姿備考	荷姿を表す文字表記		文字	268	20		荷姿備考	荷姿を表す文字表記	20	任意		立箱など				
3226			商品備考	商品に対する備考		文字	288	50		商品備考	商品に対する備考	50	任意		記事内容				
3227			取引区分	委託・買付を表す区分 ・0:委託 ・1:買付		数値U	338	1	必須 ・0.1以外エラー-[009]	取引区分	委託・買付を表す区分 ・0:委託 ・1:買付	1	必須	区分追加	委託・買付を表す区分 ・0:委託 ・1:買付 ・2:注文(委託)				
3228			仕切金額	仕切金額(取扱) ・取引区分が「委託」の場合は、販売金額 ・取引区分が「買付」の場合は、買付金額		数値S	339	10	必須	仕切金額	仕切金額(取扱) ・取引区分が「委託」の場合は、販売金額 ・取引区分が「買付」の場合は、買付金額	10	必須						
3229	取引	項目	仕切単価	仕切時の単価(取扱)、円未満切捨て 仕切単価=仕切金額÷(数量×仕切単価単位)		数値S	349	7		仕切単価	仕切時の単価(取扱)、円未満切捨て 仕切単価=仕切金額÷(数量×仕切単価単位)	7	任意		仕切金額÷数量				
3230			仕切単価単位	仕切単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	356	4	必須 ・0はエラー-[008]	仕切単価単位	仕切単価に含まれる数量(本数・鉢数)	4	任意		本、鉢、口、葉 (今回未使用)				
3231			注文単価	注文時の単価(取扱)、円未満切捨て		数値S	360	7		注文単価	注文時の単価(取扱)、円未満切捨て	7	-		(今回未使用)				
3232			注文単価単位	注文単価に含まれる数量(本数・鉢数)		数値U	367	4	必須 ・0はエラー-[008]	注文単価単位	注文単価に含まれる数量(本数・鉢数)	4	-		(今回未使用)				
3233			注文備考	注文を識別する番号、買受人番号などの備考		文字	371	20		注文備考	注文を識別する番号、買受人番号などの備考	20	-		(今回未使用)				
3234			集荷運賃点数	集荷時の運賃点数		数値SF	391	6		集荷運賃	集荷時の運賃	6	任意		(今回未使用)				
3235			集荷運賃	集荷時の運賃		数値S	397	10		集荷運賃	集荷時の運賃	10	-		(今回未使用)				
3236			即売会社品目コード	即売会社が規定する品目コード		文字	407	7		即売会社品目コード	即売会社が規定する品目コード	7	任意						
3237	販売	項目	即売会社品種コード	即売会社が規定する品種コード		文字	414	7		即売会社品種コード	即売会社が規定する品種コード	7	任意						
3238			即売会社等級コード	即売会社が規定する等級コード		文字	421	3		即売会社等級コード	即売会社が規定する等級コード	3	任意						
3239			即売会社階級コード	即売会社が規定する階級コード		文字	424	3		即売会社階級コード	即売会社が規定する階級コード	3	任意						
3240			即売会社原産地コード	即売会社が規定する原産地(国・県)を表すコード		文字	427	3		即売会社原産地コード	即売会社が規定する原産地(国・県)を表すコード	3	任意						
3241			出荷者品目コード	出荷者が規定する品目コード		文字	430	7		出荷者品目コード	出荷者が規定する品目コード	7	任意		(今回未使用)				
3242			出荷者品種コード	出荷者が規定する品種コード		文字	437	7		出荷者品種コード	出荷者が規定する品種コード	7	任意		(今回未使用)				
3243			出荷者等級コード	出荷者が規定する等級コード		文字	444	3		出荷者等級コード	出荷者が規定する等級コード	3	任意		(今回未使用)				
3244			出荷者階級コード	出荷者が規定する階級コード		文字	447	3		出荷者階級コード	出荷者が規定する階級コード	3	任意		(今回未使用)				
3245			出荷者原産地コード	出荷者が規定する原産地(国・県)を表すコード		文字	450	3		出荷者原産地コード	出荷者が規定する原産地(国・県)を表すコード	3	任意		(今回未使用)				
3246			予備	予備		数値	453	57		予備	予備	57	任意		即会社・商品管理番号				
3247			改行	改行		数値	510	2		改行	改行	2	改行		改行(CRLF)				

表 5 仕切情報メッセージ (3/3)

EDI標準(バージョン1.0)仕様										EDI標準(バージョン1.1)仕様									
階層	区分	項目名称	項目説明	コード管理者	データ型	初期値	長さ	必須項目	該当性検査 (□内はエラーコード)	項目名称	項目説明	長さ	必須項目	変更	備考				
3301	識別目	メッセージ種別	メッセージの種別を表す。固定 *3.仕切情報メッセージ	コード管理者	数値U	0	1	必須	*3.以外エラー-0001	メッセージ種別	メッセージの種別を表す。固定 *3.仕切情報メッセージ	1	必須	3	固定				
3302		レコード種別	レコードの種別を表す。固定 *3.トレーラレコード		数値U	1	1	必須	*3.以外エラー-0002	レコード種別	レコードの種別を表す。固定 *3.トレーラレコード	1	必須	3	固定				
3303		梱包数計	運賃計算の基礎となる梱包数の合計		数値S	2	6	必須	*明細レコードの口数の合計以外エラー-0101	梱包数計	運賃計算の基礎となる梱包数の合計	6	任意		(今回未使用)				
3304		口数計	明細レコードの口数の合計		数値S	8	6	必須	*明細レコードの口数の合計以外エラー-0102	口数計	明細レコードの口数の合計	6	必須		(今回未使用)				
3305		数量計	明細レコードの数量の合計		数値S	14	8	必須	*明細レコードの数量の合計以外エラー-0103	数量計	明細レコードの数量の合計	8	必須		(今回未使用)				
3306		集荷運賃点数計	明細レコードの集荷運賃点数の合計		数値SF	22	6		*明細レコードの集荷運賃点数の合計以外エラー-0104	集荷運賃点数計	明細レコードの集荷運賃点数の合計	6	任意		(今回未使用)				
3307		集荷運賃計	明細レコードの集荷運賃の合計		数値S	28	10		*明細レコードの集荷運賃の合計以外エラー-0105	集荷運賃計	明細レコードの集荷運賃の合計	10	任意		(今回未使用)				
3308		委託分金額計	委託分の仕切金額の合計(税抜)		数値S	38	10		*委託分の明細レコードの仕切金額の合計以外エラー-0106	委託分金額計	委託分の仕切金額の合計(税抜)	10	任意		(今回未使用)				
3309	集計項目	買付分金額計	買付分の仕切金額の合計(税抜)		数値S	48	10		*買付分の明細レコードの仕切金額の合計以外エラー-0107	買付分金額計	買付分の仕切金額の合計(税抜)	10	任意		(今回未使用)				
3310		仕切金額計	仕切金額の合計(税抜)		数値S	58	10	必須	*明細レコードの仕切金額の合計以外エラー-0108	仕切金額計	仕切金額の合計(税抜)	10	必須		(今回未使用)				
3311		消費税額	消費税金額		数値S	68	10	必須		消費税額	消費税金額	10	任意	必須→任意	(今回未使用)				
3312		委託手数料	控除する印紙会社が受け取る委託手数料(税込)		数値S	78	10	必須		委託手数料	控除する印紙会社が受け取る委託手数料(税込)	10	任意	必須→任意	(今回未使用)				
3313		集配手数料	控除する集配手数料金額(税込)		数値S	88	10			集配手数料	控除する集配手数料金額(税込)	10	任意		(今回未使用)				
3314		運賃費	控除するFAX,郵便等の運賃費(税込)		数値S	98	10			運賃費	控除するFAX,郵便等の運賃費(税込)	10	任意		(今回未使用)				
3315		集荷運賃計	集荷運賃(税込)		数値S	108	10			集荷運賃計	集荷運賃(税込)	10	任意		(今回未使用)				
3316		その他控除	その他の控除金額(税込)		数値S	118	10			その他控除	その他の控除金額(税込)	10	任意		(今回未使用)				
3317		差引仕切計	仕切金額の合計から控除金額を引いた金額(税込)		数値S	128	10	必須	*仕切金額の合計から控除金額を引いた金額以外エラー-0109	差引仕切計	仕切金額の合計から控除金額を引いた金額(税込)	10	任意	必須→任意	(今回未使用)				
3318		予備			数値	138	372			予備		372	任意						
3319		改行	CRLF		数値	510	2			改行	CRLF	2	改行		改行(CRLF)				

*必須項目が欠けている場合は、必須項目エラー-0005
 *可変レコード長で、最大バイト数を指定した項目は、項目長エラー-0104
 *固定レコード長で、レコード長が合わない場合は、レコード長エラー-0105
 *可変レコード長で、項目数が合わない場合は、項目数エラー-0106
 *レコードの並びが、ヘッダ・明細・トレーラでない場合は、シーが構成エラー-0107
 *明細レコードが明細レコードが番号順でない場合は、明細順序エラー-0108
 *メッセージ型が識別が訂正または取消の場合、明細レコードの並びが、ヘッダ・明細・トレーラでない場合は、列数エラー-0109

表 6 データ型表

データ型名	説明	許容文字種						
		半角数字	半角英カナ記号	全角文字	半角ピリオド(.)	半角ブランク	半角ハイフン(-)	半角プラス(+)
数値S	符号付き数値	○	×	×	×	×	○	○
数値U	符号なし数値	○	×	×	×	×	×	×
数値SF	符号付き小数値	○	×	×	○	×	○	○
数値UF	符号なし小数値	○	×	×	○	×	×	×
文字Z	全半角すべて	○	○	○	○	○	○	○
文字H	半角すべて	○	○	×	○	○	○	○
文字S	半角数字	○	×	×	×	×	×	×
文字SK	半角数字と一部半角記号	○	×	×	×	○	○	×
文字D	YYYYMMDD形式の日付	○	×	×	×	×	×	×

表 7 エラーコード表

エラーコード	内容	エラーメッセージ
001	メッセージ種別エラー	指定されたメッセージ種別が正しくありません。
002	レコード種別エラー	指定されたレコード種別が正しくありません。
003	データ型文字種エラー	項目のデータ型で許容されていない文字が含まれています。
004	日付エラー	指定された文字列が有効な日付を表していません。
005	必須エラー	必須項目が指定されていません。
006	選択必須エラー	選択必須項目のどちらもが指定されていません。
007	条件必須エラー	条件により必須となる項目が指定されていません。
008	数値符号エラー	数値の符号(正・負・0[ゼロ])が正しくありません。
009	入力値エラー	無効な値です。
010	日付範囲エラー	指定された日付が制限範囲を超えています。
011	計算エラー	レコード内での計算結果が一致しません。
012	コードエラー	指定されたコードが、コード表内に見つかりません。
013	集計エラー	各明細レコードの項目の合計と、トレーレコードの対応する合計項目の値が一致しません。
014	項目長エラー	項目の最大バイト数を超えています。
015	レコード長エラー	レコードのバイト数が正しくありません。
016	項目数エラー	レコードの項目数が正しくありません。
017	データ構成エラー	データの構成が、ヘッダ・明細・トレーの順に並んでいません。
018	明細順序エラー	明細レコードが明細レコード番号順に並んでいません。
019	対象データなしエラー	メッセージ取扱種別が訂正または取消ですが、その対象となるメッセージが見つかりません。
020	番号重複エラー	同一出荷日の同一送状番号または同一販売日の同一仕切書番号が存在します。

5 標準コード

花き EDI 標準フォーマットでは、コード類を一切利用しなくても EDI メッセージを作成することができるようになっていました。しかし、本当の意味の生産性向上を実現するには、やはり、メッセージの重要な部分はコード化されていることが望まれます。

次に掲げる情報項目には、誰もが利用できる標準コードがあります。

5.1 卸売会社コード

フロリスネット（系統 JA の花き EDI システム）の利用者で作るフロリスネット利用者協議会が、全国の花き卸売会社に重複しない 6 桁のコード番号（上 2 桁が都道府県コードになっている）を割り当てています。この卸売会社コードは、フロリスネット以前から各方面のシステムで活用されてきており、非常に普及度が高いものです。

花き EDI 標準フォーマットにおいてもそのまま採用し、他システムとの互換の利便を図っています。

5.2 系統 JA コード

出荷者が系統 JA の場合、統一的な農協コードが割り当てられています。フロリスネットではこれを、7 桁の県連コードと 10 桁の農協コードで表現します。

花き EDI 標準フォーマットは、必ずしもフロリスネットを利用しているような系統 JA 向けに用意されているわけではありませんが、そのような系統 JA が出荷者となった場合には、フロリスネットと全く同じ方法で系統 JA コードを表現します。

5.3 JF コード（品目コード、品種コード）

わが国で流通する花きの品種すべてにコード番号をつけ、そしてつけ続けるという、壮大かつ意義ある取り組みが始まったのは、1993 年のことです。登録されているコードは、2007 年現在約 70,000 件に達します。品種コードの正式名は日本花き取引コードですが、「JF コード」の通称が一般的です。現在、財団法人日本花普及センターに事務局をおく「日本花き取引コード普及促進協議会」が維持管理を担っていますが、実際に維持管理において中核的な役割を果たしているのが、一般社団法人日本花き卸売市場協会とその会員会社です。

花き EDI 標準フォーマットでは、この JF コードを積極的に活用していきます。JF コードとして公開されている 6 桁の JF 品目コードと 6 桁の JF 品種コードを利用します。ただし、花き EDI 標準フォーマットでは、JF 品種コードの先頭に半角数字の「0」を付け加え、7 桁にします。

JF 品目コード表は、表 8 と表 9 に掲げます。

JF 品種コード表は、膨大な数に上るため割愛します。

一般社団法人日本花き卸売市場協会の会員会社であれば、JF コードセンターの有料会員になることで、最新の JF コードがネットで入手できます。

（ JF コードセンター URL : <http://www.jfcode.jp> ）

5.4 等階級コード

花きの等級と階級については、使いやすいコード表がなかったため、花き EDI 標準フォーマットの策定に併せて、新たなコード表を作成しました。今後、このコードを花き業界の標準として活用していきます。

5.5 原産地コード

花きの原産地を表示する機会が増えています。特に輸入切花などでは重視されるようです。

花き EDI 標準フォーマットでは、すべての花きの原産地を表示できるよう、国産なら都道府県名、海外産なら国名を記述するフィールドを用意しています。これらに使用するコード表は JIS で規定されています。

都道府県コード： JIS X 0401 (数字 2 桁で表現)

例：北海道 01、青森県 02、岩手県 03、・・・

国名コード： JIS X 0304 (アルファベット 3 桁で表現)

例：アンドラ公国 AND、アイスランド共和国 ISL、・・・

桁数を合わせるため、花き EDI 標準フォーマットでは、都道府県コード 2 桁の頭に「0」を付け加えて 3 桁にして使用します。

表 8 JF 品目コード表 (1/3)

コード	品目名	追加	コード	品目名	追加	コード	品目名	追加
060080	アガパンサス		061180	バンジー		062800	ペラルゴニウム	
060090	アスチルベ		061190	バンパスグラス		062850	ミリオフィルム	
060100	アイリス		061200	ヒオウギ		062900	モンステラ	
060110	アザミ		061210	ひまわり		062950	ヤシ シュロ	
060120	アスター		061220	ピンポンギク	1.1	062960	ヤシ フェニックス	
060130	アネモネ		061240	フウセントウワタ	1.1	062970	ヤシ その他	
060140	アマリリス		061250	ブバルディア		063900	その他切葉	
060150	アリウム		061260	フリージア		064100	アオキ	
060160	アルストロメリア		061270	ブルースター		064110	アカシア	
060170	アンズリウム		061280	ブブレウルム		064120	アジサイ	
060180	ウイキョウ		061290	ベニバナ		064130	アセボ	
060190	オーニソガラム		061300	ホトギス		064200	イブキ	
060200	カーネーション		061310	ポピー		064250	ウツギ	
060210	スプレーカーネ		061320	ホオズキ		064260	ウメ	
060220	ガーベラ		061350	マーガレット		064270	うめもどき	
060230	カスミ草		061360	マトリカリア	1.1	064300	エニシダ	
060240	カラー		061370	マリーゴールド	1.1	064310	エリカ	
060250	カンパニュラ		061400	都忘れ		064350	オオデマリ	
060260	エリンジウム	1.1	061420	ハナムギ		064400	カイドウ	
060290	ミニカーネーション		061430	モルセラ		064410	カキ	
060300	菊		061450	ユウギリソウ		064420	カクレミノ	
060310	菊 2~3輪		061460	ユーホルビア		064430	ガマ	
060320	スプレー菊		061500	ユリ エンチャント		064440	カンキツ	
060330	コギク		061510	ユリ 鹿子百合		064500	キイチゴ	
060340	キキョウ		061520	ユリ 新鉄砲百合		064510	キフジ	
060350	金魚草		061530	ユリ 透百合		064520	キリ	
060360	キンセンカ		061540	ユリ 鉄砲百合		064530	キャラボク	
060380	サガ菊		061550	ユリ 姫百合		064540	ギョリュウバイ	
060390	クラスペディア	1.1	061560	ユリ その他		064550	キンボウジュ	
060400	グラジオラス		061570	ユリ オリエンタル系HB		064560	キンモクセイ	
060410	クレマチス		061580	ユリ(LA)		064600	クロモジ	
060420	グロリオサ		061600	ラン キュラス		064610	クワ	
060430	孔雀草		061610	ラン エビネ		064620	敬翁桜	1.1
060440	クルクマ		061620	ラン オンシジウム		064650	コデマリ	
060450	けいとう		061630	ラン カトレア		064700	サイプレス	
060500	コスモス		061640	ラン サギソウ		064710	サカキ	
060550	サルタン		061650	ラン シンビジウム		064720	サクラ	
060560	サンタンカ		061660	ラン デンドロビウム		064730	サツキ	
060570	サンダーソニア		061670	ラン デンファレ		064740	サンキライ	
060600	芍薬		061680	ラン ファレノプシス		064750	サンシュ	
060610	ジャスミン		061690	ラン その他		064790	× 櫛 くり	
060700	スイセン		061800	リアトリス		064800	シキビ	
060710	スイトピー		061810	リンドウ		064810	シャクナゲ	
060730	ストケシア		061820	ルリタマアザミ	1.1	064850	スギ	
060740	ストック		061830	レースフラワー	1.1	064860	スモモ	
060750	ストレリチア		061840	ササリンドウ		064870	スモークツリー	
060760	スターチス(1年生)		061850	ローダンセ		064890	× しきみ くり	
060770	スターチス(宿根)		061880	ワレモッコウ		064900	センリョウ	
060780	スカビオサ		061900	その他切花		065150	そけい	
060790	ソリタゴ		062100	アスパラガス		065200	竹	
060800	ダリア		062110	アワ		065250	ツツジ	
060850	チューリップ		062150	オクラ		065260	ツノナス	
060860	チューペローズ		062160	オモト		065270	ツバキ	
060900	デージー		062200	カラジウム		065280	ツルウメモドキ	
060910	テロピア	1.1	062210	カンキツ		065290	ツルムラサキ	
060920	デルフィニューム		062250	クロトン		065350	トウガラシ	
060930	ラクスパバー		062300	ゴム		065360	ドウダンツツジ	
060940	デンモンソウ	1.1	062350	サンセベリア		065370	トウモロコシ	
060950	とりかぶと		062400	シダ レザーファン		065380	ドラセナ	
060960	トルコ桔梗		062410	シダ ゼンマイ		065450	ななかまど	
061100	なでしこ		062420	シダ タニワタリ		065460	ナンテン	
061110	菜の花		062430	シダ その他		065500	ヌリモノ	
061120	ニゲラ	1.1	062470	シャガ		065550	野バラ	
061130	ニューサイラン	1.1	062500	スマイラックス		065600	ハクモクレン	
061150	ハナショウブ		062600	ソテツ		065610	ハゼ	
061160	バラ		062650	ナルコユリ		065650	ヒイラギ	
061170	バラスプレー		062700	ハラソ		065660	ヒバ	

つづく

(※「追加」欄の数字は、コード追加時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号)

表9 JF 品目コード表 (2/3)

コード	品目名	追加	コード	品目名	追加	コード	品目名	追加
065670	ヒメリンゴ		070700	キク・ポットマム		072110	ナデシコ・セキチク	
065680	ヒペリカム		070710	キク・ユーゼンギク		072120	ナデシコ・その他	
065690	×びしゃこ くくり		070720	キク・その他		072150	ニチニチソウ	
065700	フウセンカズラ		070750	ギョリウバイ		072200	バーベナ	
065710	フジ		070760	キンセンカ		072210	ハイビスカス	
065720	ブナ		070800	クチナシ		072220	ハチス	
065850	ボケ		070810	クモマグサ		072230	ハトス	
065900	マサキ		070820	クレマチス		072240	ハナキリン	
065910	松		070830	グロキシニア		072250	ハナショウブ	
065920	マタタビ		070840	クロッカス		072260	パピアーナ	
065930	マンサク		070850	クロトン		072270	ハボタン	
065940	万両		070860	クンシラン		072280	バラ	
066100	ミズキ		070900	ケイトウ		072350	ヒレア	
066150	ムラサキシキブ		071100	コーヒーノキ		072360	ヒアシンス	
066200	モクセイ		071110	コケサンゴ		072370	ヒメノボタン	
066210	モクレン		071120	ゴム・ガジュマル		072380	ピラカンサス	
066220	モミ		071130	ゴム・ベンジャミン		072450	ブーゲンビリア	
066230	モミジ		071140	ゴム・その他		072460	フィロデントロ	
066240	モモ		071150	コリウス		072470	フクジュソウ	
066300	ヤシャブシ		071160	コルムネア		072480	フバルティア	
066310	ヤツデ		071200	サギソウ		072490	ブライダルベール	
066320	ヤナギ		071210	サクラ		072500	フリージア	
066330	ヤマブキ		071220	サクラソウ		072510	プリムラ・オブコニカ	
066400	ユカリ		071230	ザクロ		072520	プリムラ・シネンシス	
066410	ユキヤナギ		071240	サツキ		072530	プリムラ・ジュリアン	
066450	ライラック		071250	サボテン カニバ		072540	プリムラ・ボリアンサ	
066500	リキュンバイ		071260	サボテン タニク		072550	プリムラ・マラコイデス	
066510	リョウブ		071270	サボテン その他		072560	プリムラ・その他	
066520	リンショウバイ		071280	サルスベリ		072600	ブルーデージ	
066600	レンギョ		071290	サルビア		072650	ペゴニア・センバー	
066650	ロウバイ		071300	サンセベリア		072660	ペゴニア・リーガー	
066900	その他切枝		071350	シクラメン		072670	ペゴニア・その他	
070100	アサガオ		071360	シザンサス		072700	ペチュニア	
070110	アザレア		071370	シダ・アジアンタム		072710	ヘデラ	
070120	アジサイ		071380	シダ・タニワタリ		072720	ペペロミア	
070130	アスター		071390	シダ・タマシダ		072730	ベラルゴニウム	
070140	アスパラガス		071400	シダ・その他		072740	ベルフラワー	
070150	アツザクラ		071410	シネリア		072800	ボインセチア	
070160	アナナス		071420	シバザクラ		072810	ホオズキ	
070170	アヤメ		071430	シャクナゲ		072820	ホクシア	
070180	アロエ		071440	シャクヤク		072830	ボケ	
070190	アンズリウム		071450	ジャスミン		072840	ボタン	
070200	アルストロメリア	1.1	071460	ジンチョウゲ		072850	ボトス	
070250	イワヒバ		071500	スイートピー		072860	ホヤ	
070260	インパチエンス		071510	スイセン		072870	ボローニア	
070300	ウメ		071520	スズラン		072880	ホンコン・カボック	
070310	ウメモドキ		071550	ゼラニウム		073100	マコヤーナ	
070350	エキザカム		071560	セントポーリア		073110	マツ	
070360	エニシダ		071570	センニチソウ		073120	マリーゴールド	
070370	エリカ		071600	ソテツ		073130	マランタ	
070380	エレダニカ		071650	ダニア		073140	マンリョウ	
070450	オダマキ		071660	ダリア		073200	ミニカンヨウ	
070460	オリヅルラン		071700	チューリップ		073210	ミヤコワスレ	
070500	カーネーション		071750	ツツジ		073250	ムラサキシキブ	
070510	ガーベラ		071760	ツバキ		073300	モモ	
070520	ガザニア		071770	ツルムラサキ		073310	モンステラ	
070530	カラ		071800	デージー		073350	ヤシ・カンノンチク	
070540	カラジウム		071810	ディオネア		073360	ヤシ・フェニックス	
070550	カラコエ		071820	ディフェンバキア		073370	ヤシ・その他	
070560	カルセオラリア		071830	ディブラデニア		073450	ライラック	
070570	カルミア		071840	ディモルフオセンカ		073460	ランタンキュラス	
070580	カンキツ		071900	トウガラシ		073470	ランタナ	
070650	キキョウ		071910	トケイソウ		073480	ラン・エビキ	
070660	キク・クッションマム		071920	ドラセナ		073490	ラン・オンシジウム	
070670	キク・ケンガイギク		071930	トラデスカンティア		073500	ラン・カトレア	
070680	キク・ハマギク		071940	トルコギキョウ		073510	ラン・シンビジウム	
070690	キク・ボサギク		072100	ナス		073520	ラン・デンドロビウム	

つづく

(※「追加」欄の数字は、コード追加時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号)

表 10 JF 品目コード表 (3/3)

コード	品目名	追加	コード	品目名	追加	コード	品目名	追加
073530	ラン・デンファレ		084100	アサガオ				
073540	ラン・パフィオペディルム		084110	アルメリア				
073550	ラン・ファレノプシス		084150	オジギソウ				
073560	ラン・その他		084200	キク				
073570	ラン・エビデンドラム		084210	キンセンカ				
073600	リンゴ・カイドウ		084250	サルビア				
073610	リンゴ・ヒメリンゴ		084300	シバザクラ				
073620	リンゴ・その他		084330	ストック				
073630	リンドウ		084350	セキチク				
073700	ルピナス		084400	チューリップ				
073750	ローケア		084430	×ストック				
073800	ワスレナグサ		084450	デージー				
073900	その他鉢物		084480	ナデシコ				
074100	イブキ		084500	ニチニチソウ				
074150	ウメ		084550	ハゲイトウ				
074200	カイズカイブキ		084600	パンジー				
074250	サツキ		084610	ハボタン				
074300	タマイブキ		084650	ヒヤクニチソウ				
074350	ツゲ		084700	プリムラ				
074360	ツツジ		084750	ペチュニア				
074370	ツバキ		084800	マツバボタン				
074400	ヒバ		084850	マリーゴールド				
074450	マキ		084900	その他花き類苗木				
074500	マツ							
074550	モミジ							
074900	その他花木							
075100	アイリス							
075110	アマリリス							
075150	カンナ							
075200	グラジオラス							
075210	クロッカス							
075250	スイセン							
075300	ダリア							
075350	チューリップ							
075400	ヒアシンス							
075500	フリージア							
075600	ユリ・カノコユリ							
075610	ユリ・スカシユリ							
075620	ユリ・テッポウユリ							
075630	ユリ・その他							
075900	その他球根							
076100	加工植物							
076900	花きその他							
082100	米種子							
082200	麦種子							
082300	豆種子							
082400	穀類その他種子							
082500	野菜種子							
082510	種子ばれいしょ							
082520	種子甘しょ							
082530	種子さといも							
082600	花き類種子							
082900	その他種子							
082910	ハト麦種子							
082920	コンニャク種子							
083100	カボチャ							
083150	キュウリ							
083200	スイカ							
083250	トウガラシ							
083300	トマト							
083350	ナス							
083400	ネギ							
083450	パセリ							
083500	ピーマン							
083550	ヘチマ							
083600	レタス							
083900	その他果菜苗木							

(※「追加」欄の数字は、コード追加時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号)

表 11 標準等級コード表

コード	等級名	等級カナ	コード	等級名	等級カナ	コード	等級名	等級カナ
000	(無等級)	(ナ)	521	A A A	AAA	542	特中	トクチュウ
501	特級	トッキュウ	522	B	B	543	上	ジョウ
502	1級	1キユウ	523	B 1	B1	544	上中	ジョウチュウ
503	2級	2キユウ	524	B 2	B2	545	中	チュウ
504	3級	3キユウ	525	B B	BB	546	下	ゲ
505	4級	4キユウ	526	B B B	BBB	547	特A	トクA
506	5級	5キユウ	527	A B	AB	548	特秀	トクシュウ
507	6級	6キユウ	528	C	C	549	特選	トクセン
508	7級	7キユウ	529	D	D	550	〇	マル
509	特等	トクトウ	530	E	E	551	〇A	マルA
510	1等	1トウ	531	F	F	552	〇B	マルB
511	2等	2トウ	532	秀	シュウ	553	〇秀	マルシュウ
512	3等	3トウ	533	秀優	シュウユウ	554	〇優	マルユウ
513	4等	4トウ	534	秀良	シュウリョウ	555	並	ナミ
514	5等	5トウ	535	優	ユウ	556	S P	スパー
515	6等	6トウ	536	優良	ユウリョウ	557	E X	エクストラ
516	7等	7トウ	537	良	リョウ	558	外	ガイ
517	A	A	538	可	カ	559	別	ベツ
518	A 1	A1	539	準	ジュン	560	曲り	マガリ
519	A 2	A2	540	特	トク	561	混合	コンゴウ
520	A A	AA	541	特上	トクジョウ			

表 12 標準階級コード表

コード	階級名	階級カナ	コード	階級名	階級カナ	コード	階級名	階級カナ
000	(無階級)	(ナ)	374	7 0 ~ 4 0 c m	70-40cm	419	L ~ M	L-M
005	5 c m	5cm	375	7 0 ~ 5 0 c m	70-50cm	420	L ~ S	L-S
010	1 0 c m	10cm	376	7 0 ~ 6 0 c m	70-60cm	421	M ~ S	M-S
~	~	~	385	8 0 ~ 5 0 c m	80-50cm	422	M ~ 2 S	M-2S
195	1 9 5 c m	195cm	386	8 0 ~ 6 0 c m	80-60cm	423	S ~ 2 S	S-2S
200	2 0 0 c m	200cm	387	8 0 ~ 7 0 c m	80-70cm	424	S ~ 3 S	S-3S
205	0 . 5 m	0.5m	396	9 0 ~ 6 0 c m	90-60cm	425	2 S ~ 3 S	2S-3S
210	1 m	1m	397	9 0 ~ 7 0 c m	90-70cm	426	2 S ~ 4 S	2S-4S
~	~	~	398	9 0 ~ 8 0 c m	90-80cm	427	3 S ~ 4 S	3S-4S
290	9 m	9m	401	5 L	5L	428	X X L	XXL
295	9 . 5 m	9.5m	402	4 L	4L	429	X L	XL
300	1 0 m	10m	403	3 L	3L	430	X S	XS
317	1 0 0 ~ 7 0 c m	100-70cm	404	2 L	2L	431	X X S	XXS
318	1 0 0 ~ 8 0 c m	100-80cm	405	L	L	432	特大	トクダイ
319	1 0 0 ~ 9 0 c m	100-90cm	406	M	M	433	大	ダイ
321	2 0 ~ 1 0 c m	20-10cm	407	S	S	434	中	チュウ
331	3 0 ~ 1 0 c m	30-10cm	408	2 S	2S	435	小	ショウ
332	3 0 ~ 2 0 c m	30-20cm	409	3 S	3S	436	極小	ゴクショウ
341	4 0 ~ 1 0 c m	40-10cm	410	4 S	4S	437	極太	ゴクタイ
342	4 0 ~ 2 0 c m	40-20cm	411	5 L ~ 4 L	5L-4L	438	太	タイ
343	4 0 ~ 3 0 c m	40-30cm	412	5 L ~ 3 L	5L-3L	439	細	ホソ
352	5 0 ~ 2 0 c m	50-20cm	413	4 L ~ 3 L	4L-3L	440	極細	ゴクホソ
353	5 0 ~ 3 0 c m	50-30cm	414	4 L ~ 2 L	4L-2L	441	長	チヨウ
354	5 0 ~ 4 0 c m	50-40cm	415	3 L ~ 2 L	3L-2L	442	短	タン
363	6 0 ~ 3 0 c m	60-30cm	416	3 L ~ L	3L-L	443	混合	コンゴウ
364	6 0 ~ 4 0 c m	60-40cm	417	2 L ~ L	2L-L			
365	6 0 ~ 5 0 c m	60-50cm	418	2 L ~ M	2L-M			

表 13 原産地コード表 (1/5) (都道府県コード)

コード	都道府県名	コード	都道府県名	コード	都道府県名	コード	都道府県名
001	北海道	013	東京都	025	滋賀県	037	香川県
002	青森県	014	神奈川県	026	京都府	038	愛媛県
003	岩手県	015	新潟県	027	大阪府	039	高知県
004	宮城県	016	富山県	028	兵庫県	040	福岡県
005	秋田県	017	石川県	029	奈良県	041	佐賀県
006	山形県	018	福井県	030	和歌山県	042	長崎県
007	福島県	019	山梨県	031	鳥取県	043	熊本県
008	茨城県	020	長野県	032	島根県	044	大分県
009	栃木県	021	岐阜県	033	岡山県	045	宮崎県
010	群馬県	022	静岡県	034	広島県	046	鹿児島県
011	埼玉県	023	愛知県	035	山口県	047	沖縄県
012	千葉県	024	三重県	036	徳島県		

JIS X 0401 (数字 2 桁) の頭に「0」を付け加えたもの。

表 14 原産地コード表 (2/5) (国名コード、英名 ABC 順)

国名	英名	記号	更新
アルバ	Aruba	ABW	
アフガニスタン	Afghanistan	AFG	
アンゴラ	Angola	AGO	
アンギラ	Anguilla	AIA	
オーランド諸島	Aland Islands	ALA	1.1追加
アルバニア	Albania	ALB	
アンドラ	Andorra	AND	
オランダ領アンティル	Netherlands Antilles	ANT	
アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	ARE	
アルゼンチン	Argentina	ARG	
アルメニア	Armenia	ARM	
アメリカ領サモア	American Samoa	ASM	
南極	Antarctica	ATA	
フランス領南方・南極地域	French Southern Territories	ATF	
アンティグア・バーブーダ	Antigua and Barbuda	ATG	
オーストラリア	Australia	AUS	
オーストリア	Austria	AUT	
アゼルバイジャン	Azerbaijan	AZE	
ブルンジ	Burundi	BDI	
ベルギー	Belgium	BEL	
ベナン	Benin	BEN	
ブルキナファソ	Burkina Faso	BFA	
バングラデシュ	Bangladesh	BGD	
ブルガリア	Bulgaria	BGR	
バーレーン	Bahrain	BHR	
バハマ	Bahamas	BHS	
ボスニア・ヘルツェゴビナ	Bosnia and Herzegovina	BIH	
ベラルーシ	Belarus	BLR	
ベリーズ	Belize	BLZ	
バミューダ諸島	Bermuda	BMU	
ボリビア	Bolivia	BOL	
ブラジル	Brazil	BRA	
バルバドス	Barbados	BRB	
ブルネイ	Brunei Darussalam	BRN	
ブータン	Bhutan	BTN	
ブーベ島	Bouvet Island	BVT	
ボツワナ	Botswana	BWA	
中央アフリカ	Central African Republic	CAF	
カナダ	Canada	CAN	
ココス諸島	Cocos Islands	CCK	
スイス	Switzerland	CHE	
チリ	Chile	CHL	
中華人民共和国	China	CHN	
コートジボワール	Cote d'Ivoire	CIV	
カメルーン	Cameroon	CMR	
コンゴ民主共和国	Congo	COD	
コンゴ共和国	Congo	COG	
クック諸島	Cook Islands	COK	
コロンビア	Colombia	COL	
コモロ	Comoros	COM	
カーボベルデ	Cape Verde	CPV	
コスタリカ	Costa Rica	CRI	
キューバ	Cuba	CUB	
クリスマス島	Christmas Island	CXR	
ケイマン諸島	Cayman Islands	CYM	
キプロス	Cyprus	CYP	
チェコ	Czech Republic	CZE	
ドイツ	Germany	DEU	
ジブチ	Djibouti	DJI	
ドミニカ国	Dominica	DMA	
デンマーク	Denmark	DNK	
ドミニカ共和国	Dominican Republic	DOM	
アルジェリア	Algeria	DZA	
エクアドル	Ecuador	ECU	

つづく

※国名は一般的な名称で表記。正式名称は、JIS X 0304 (アルファベット 3 桁で表現) を参照のこと
「更新」欄は、変更時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号と変更内容

表 15 原産地コード表 (3/5) (国名コード、英名 ABC 順)

国名	国英名	記号	更新
エジプト	Egypt	EGY	
エリトリア	Eritrea	ERI	
西サハラ	Western Sahara	ESH	
スペイン	Spain	ESP	
エストニア	Estonia	EST	
エチオピア	Ethiopia	ETH	
フィンランド	Finland	FIN	
フィジー	Fiji	FJI	
フォークランド諸島	Falkland Islands	FLK	
フランス	France	FRA	
フェロー諸島	Faroe Islands	FRO	
ミクロネシア連邦	Micronesia	FSM	
ガボン	Gabon	GAB	
イギリス	United Kingdom	GBR	
ジョージア	Georgia	GEO	1.1変更 (国名の日本語表記をグルジアより変更)
ガーンジー島	Guernsey	GGY	1.1追加
ガーナ	Ghana	GHA	
ジブラルタル	Gibraltar	GIB	
ギニア	Guinea	GIN	
グアドループ島	Guadeloupe	GLP	
ガンビア	Gambia	GMB	
ギニアビサウ	Guinea-Bissau	GNB	
赤道ギニア	Equatorial Guinea	GNQ	
ギリシャ	Greece	GRC	
グレナダ	Grenada	GRD	
グリーンランド	Greenland	GRL	
グアテマラ	Guatemala	GTM	
フランス領ギアナ	French Guiana	GUF	
グアム	Guam	GUM	
ガイアナ	Guyana	GUY	
香港	Hong Kong	HKG	
ヘッド島・マクドナルド諸島	Heard Island and McDonald Islands	HMD	
ホンジュラス	Honduras	HND	
クロアチア	Croatia	HRV	
ハイチ	Haiti	HTI	
ハンガリー	Hungary	HUN	
インドネシア	Indonesia	IDN	
マン島	Isle of Man	IMN	1.1追加
インド	India	IND	
イギリス領インド洋地域	British Indian Ocean Territory	IOT	
アイルランド	Ireland	IRL	
イラン	Iran	IRN	
イラク	Iraq	IRQ	
アイスランド	Iceland	ISL	
イスラエル	Israel	ISR	
イタリア	Italy	ITA	
ジャマイカ	Jamaica	JAM	
ジャージー島	Jersey	JEY	1.1追加
ヨルダン	Jordan	JOR	
日本	Japan	JPN	
カザフスタン	Kazakhstan	KAZ	
ケニア	Kenya	KEN	
キルギスタン	Kyrgyzstan	KGZ	
カンボジア	Cambodia	KHM	
キリバス	Kiribati	KIR	
セントクリストファー・ネイビス	Saint Kitts and Nevis	KNA	
大韓民国	Korea	KOR	
クウェート	Kuwait	KWT	
ラオス	Lao Peoples Democratic Republic	LAO	
レバノン	Lebanon	LBN	
リベリア	Liberia	LBR	
リビア	Libyan Arab Jamahiriya	LBY	
セントルシア	Saint Lucia	LCA	
リヒテンシュタイン	Liechtenstein	LIE	

つづく

※国名は一般的な名称で表記。正式名称は、JIS X 0304 (アルファベット 3 桁で表現) を参照のこと
「更新」欄は、変更時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号と変更内容

表 16 原産地コード表 (4/5) (国名コード、英名 ABC 順)

国名	国英名	記号	更新
スリランカ	Sri Lanka	LKA	
レソト	Lesotho	LSO	
リトアニア	Lithuania	LTU	
ルクセンブルク	Luxembourg	LUX	
ラトビア	Latvia	LVA	
マカオ	Macao	MAC	
モロッコ	Morocco	MAR	
モナコ	Monaco	MCO	
モルドバ	Moldova	MDA	
マダガスカル	Madagascar	MDG	
モルディブ	Maldives	MDV	
メキシコ	Mexico	MEX	
マーシャル諸島	Marshall Islands	MHL	
マケドニア	Macedonia	MKD	
マリ	Mali	MLI	
マルタ	Malta	MLT	
ミャンマー	Myanmar	MMR	
モンテネグロ	Montenegro	MNE	1.1追加
モンゴル	Mongolia	MNG	
北マリアナ諸島	Northern Mariana Islands	MNP	
モザンビーク	Mozambique	MOZ	
モーリタニア	Mauritania	MRT	
モントセラト	Montserrat	MSR	
マルチニーク島	Martinique	MTQ	
モーリシャス	Mauritius	MUS	
マラウイ	Malawi	MWI	
マレーシア	Malaysia	MYS	
マヨット島	Mayotte	MYT	
ナミビア	Namibia	NAM	
ニューカレドニア	New Caledonia	NCL	
ニジェール	Niger	NER	
ノーフォーク島	Norfolk Island	NFK	
ナイジェリア	Nigeria	NGA	
ニカラグア	Nicaragua	NIC	
ニウエ	Niue	NIU	
オランダ	Netherlands	NLD	
ノルウェー	Norway	NOR	
ネパール	Nepal	NPL	
ナウル	Nauru	NRU	
ニュージーランド	New Zealand	NZL	
オマーン	Oman	OMN	
パキスタン	Pakistan	PAK	
パナマ	Panama	PAN	
ピトケアン	Pitcairn	PCN	
ペルー	Peru	PER	
フィリピン	Philippines	PHL	
パラオ	Palau	PLW	
パプアニューギニア	Papua New Guinea	PNG	
ポーランド	Poland	POL	
プエルトリコ	Puerto Rico	PRI	
朝鮮民主主義人民共和国	Korea	PRK	
ポルトガル	Portugal	PRT	
パラグアイ	Paraguay	PRY	
パレスチナ	Palestinian Territory	PSE	1.1追加
フランス領ポリネシア	French Polynesia	PYF	
カタール	Qatar	QAT	
レユニオン	Reunion	REU	
ルーマニア	Romania	ROU	
ロシア	Russian Federation	RUS	
ルワンダ	Rwanda	RWA	
サウジアラビア	Saudi Arabia	SAU	
スーダン	Sudan	SDN	
セネガル	Senegal	SEN	
シンガポール	Singapore	SGP	

つづく

※国名は一般的な名称で表記。正式名称は、JIS X 0304 (アルファベット 3 桁で表現) を参照のこと
「更新」欄は、変更時の EDI 標準フォーマット仕様書のバージョン番号と変更内容

6 独自コード

6.1 出荷者コード

個人生産者を含む全国の花きの出荷者に、統一的なコード番号を割り当てるのは非常に困難で、標準化およびその維持管理は事実上不可能です。

花き EDI 標準フォーマットでは、出荷者コードは、5.2 項の系統 JA コードを持っている出荷者を除き、卸売会社が割り当てることになっています。その際、統一化を意識する必要はなく、各卸売会社固有の出荷者コードを割り当ててかまいません。卸売会社はその出荷者コードを出荷者本人に通知します。

この方法は、出荷者にとって望ましくないように思えます。なぜなら、複数の卸売会社と取引する出荷者は、卸売会社ごとに個別に連絡を取り、それぞれに異なる自分の出荷者コード（その卸売会社が自分を何と呼んでいるか）をすべて知る必要があるからです。そして、出荷する相手ごとに EDI メッセージ中に出荷者コードを使い分けなければなりません。

一見不都合に思える方式ですが、実際に EDI を実現する段になると、さして困難ではないことに気づきます。

出荷者が、卸売会社から出荷者コードを聞き出さなければならないのは、EDI を開始する最初の 1 回だけです。また、もとより卸売会社コードは必ず相手ごとに使い分けなければならないのですから、それに連動させて出荷者コードも使い分ければ、実装は容易でしょう。

卸売会社側でも、一度割り当てた出荷者コードを変更することは、頻度が低いと考えられるので、維持管理には好都合です。

6.2 その他の独自コード（拡張項目）

花き EDI 標準フォーマットでは、独自コードを極力排し標準コードだけに合わせていく、という考え方はしていません。むしろ、独自コードも活用の余地があれば積極的に活用していくという考え方を採っています。それは、明細レコードに拡張項目として、独自コードを埋め込める部分を用意した点に表れています。

独自コードを相手に伝えるということは、そのコードが相手にとって意味のないものであっても、必ずしもむだなことではありません。

理由は以下の 2 点です。

① 相手の利便性向上

相手から独自コードをもらうと、たとえば卸売会社が仕切情報を返すとき、出荷者の独自コードを埋めてあげることができます。それにより、出荷者の重要な業務の 1 つである照合の効率が改善します。同様に、出荷者が、卸売会社の独自コードが入った仕切情報を再利用して出荷情報を作成すると、出荷情報に卸売会社の独自コードを埋めてあげることができ、卸売会社の荷受の効率が向上します。

② コード変換表への発展

日常的な EDI の中で独自コードをやり取りするうちに、名称などを手がかりに、お互いの独自コード同士の変換表を作ることができるようになります。変換表があると、標準コードを利用できない場合でも EDI の効率を向上させることができます。

どちらも、事務処理ソフトウェアに比較的高度な処理が要求されるため、誰もが実現できるしくみではありませんが、特定の出荷者と卸売会社の組み合わせに限れば、実現性は高いと考えられます。

花き EDI 標準フォーマットを利用する際は、拡張項目の独自コード部分を備忘録代わりに埋め込んでおくとい良いでしょう。

花き EDI 標準フォーマット仕様書 (Ver. 1.1)

発行日 平成 19 年 7 月 1 日 初版
平成 27 年 10 月 14 日 改訂 (Ver 1.1)

発行者 一般社団法人日本花き卸売市場協会
東京都千代田区神田司町 2-7
福祿ビル (6 階)

協 力 JFE エンジニアリング株式会社
横浜市鶴見区末広町 2-1